

環境汚染の防止

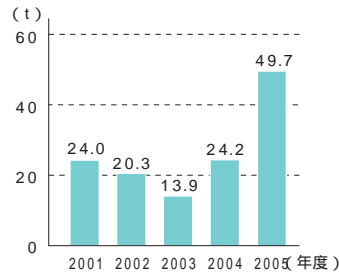
大気汚染や水質汚濁などの未然防止および環境関連法の遵守のため、各事業所では環境への排出について、その地域での条例・協定など、さらに厳しい自主管理値を設定して排出物質の管理の徹底を図り、環境パフォーマンスの継続的改善を行っています。

大気汚染防止

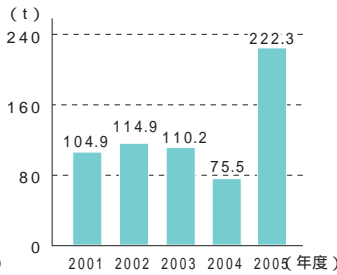
設備の適切な維持管理、定期的な点検を通し、法律や条例などの規制値の遵守と大気汚染物質の排出削減に努めています。

SOxおよびNOxの排出量については、2005年度より新たに生産子会社となったクボタシーアイ(株)栃木工場のディーゼル発電機の影響により、大幅に増加しました。

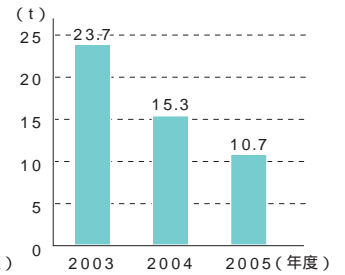
SOx排出量の推移



NOx排出量の推移



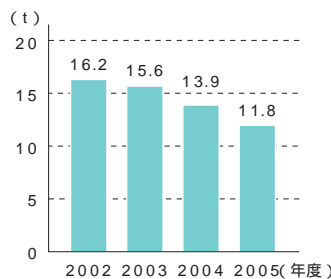
ばいじん排出量の推移



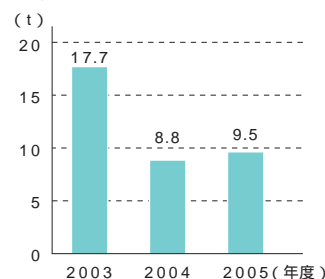
水質汚濁防止

水質汚濁負荷量については、前年度に比べCODは低減しましたが、窒素、りんは微増しました。今後も低減に努めます。

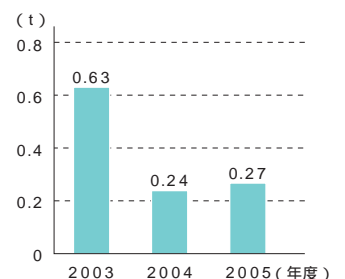
COD排出量の推移



窒素排出量の推移



りん排出量の推移



総量規制対象工場: 阪神(武庫川)、京葉(船橋)、京葉(市川)、枚方、堺臨海

地下水管理状況

過去に有機塩素系化合物を使用していた事業所における地下水測定結果は不検出であり、問題はありませんでした。

事業所名	物質名	地下水測定値	環境基準値
筑波	トリクロロエチレン	不検出(<0.0002mg/l)	0.03mg/l以下
宇都宮	トリクロロエチレン	不検出(<0.0005mg/l)	0.03mg/l以下
竜ヶ崎	ジクロロメタン	不検出(<0.0001mg/l)	0.02mg/l以下

環境防除施設事例

塗料飛散防止のための局所排気設備



竜ヶ崎工場

大気放出削減のための活性炭脱臭装置



久宝寺事業センター

潤滑油取り出しの際の漏洩防止対策



筑波工場